

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、
安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

2023 年度入社式および導入教育実施

4月3日、6名の新入社員を迎え、2023 年度入社式を執り行いました。式では社長の祝辞に続いて、新入社員代表が誓いの言葉を力強く述べ、社会人としてのスタートを切りました。

入社式に続いて導入教育を行い、当社社員として最初に身に付けるべき基礎知識を学びます。導入教育後は各配属先での実務に則した教育が行われます。

(担当部署:総務部 Tel:077-534-0956)



2022 年度 輸出管理委員会、製品安全・品質保証委員会の開催

倫理委員会の下位の委員会として、毎年 3 月に開催しています。

両委員会とも、冒頭に委員長（社長）の指示事項が伝達され、事務局からは2022年度の活動状況が報告されました。

輸出管理委員会では、2022 年度も法令違反および法令に関わる重要な問題が無かったことが報告されましたが、米中の覇権争いやロシアのウクライナ侵攻の影響で各種の規制が強化・改定されているため、最新の情報を確認し輸出管理手続きを行うよう周知しました。

また、製品安全・品質保証委員会では、2022 年度も製品安全・品質保証に関わる重大な事故は無かったことが報告されました。今後も、製品安全・品質保証活動を東レグループ方針である品質保証を含む「企業倫理・コンプライアンス」を「安全・防災・環境保全」と並ぶ経営の最重要課題と位置付けて推進し、お客様に安全で高品質な製品を提供していくことを周知しました。

(担当部署：CSR・法務審査室、製品安全・品質保証統括室 Tel：077-534-0956)

次期中期経営課題（2023 年度～2025 年度）スタート

新年度から次期中経がスタートするにあたり、全社の Vision と Mission、部門・本部の活動方針が決定しました。

2023 年度は、当社創立 50 周年となる節目の年でもあり、－新たな決意で さらなる飛躍！－を目指し、全社一丸となって各課題の目標を確実に達成できるよう取り組んでいきます。

〈Vision〉将来像（2025 年度）

「**E + M** で安定成長企業へ」

東レエンジニアリング西日本は、**E**ngineering と **M**aintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

〈Mission〉ステークホルダーにどのように貢献するか

東レエンジニアリング西日本は、培った技量をもとに新しい価値を提供することで、ステークホルダーの方々と社会に貢献し続けます。

Engineering

（施設事業部、プラント事業部、電製事業部）

設備事業を通じて、お客様に最適なソリューションを提供します

活動指針：得意分野を融合し、エンジニアリング事業を発展させる

1. 2025 年度売上 111 億円体制の確立
2. 事業部連携による事業拡大、技術力向上、要員育成
3. 働き方改革の定着
4. DX を活用した業務効率化、生産性向上

Maintenance（滋賀・愛媛・石川の各保全事業部）

保全事業を通じて、お客様の生産効率を高め事業収益の拡大に貢献します

活動指針：強靱な保全現場力を武器に、保全事業を持続的発展させる

1. リスクアセスメントと作業標準改訂による保全作業の標準化と安全化
2. 現場力を活かした提案型保全の推進による事業の継続、拡大
3. 教育の積極的推進と業務レベル評価システムの定着による人材育成
4. 保全業務分析と DX 活用による業務効率化と働き方改革

（担当部署:CSR・法務審査室 Tel:077-534-0956）

ちりつも作戦⑫ 小型プリンタの導入

プラント事業部営業部隊サークルでは、小型のプリンタを導入し、自部署の席に設置しました。

今まで、同じフロアの技術部署と大型のプリンタを共有していましたが、お客様に提出する資料を印刷した際、大量の技術資料の出力待ちをすることが多々ありました。また、まれに技術の資料に混入し、行方不明になることもありました。

今回小型のプリンタを導入することで、出力待ちの時間を無くし、資料混入という重大事故を防ぐことができるようになりました。

また、フロア中央の大型のプリンタまでの移動時間も無くすことができ、さらに一枚あたりの印刷コストも導入機種の方が安く、印刷コストの削減にもつながりました。

